

中央市文化協会だより

令和8年3月発行

いねの花

No. 20

中央市文化協会
☎ 055-274-8522



桃と北岳

あいさつ

文化協会会長
鮎川 英 哲

中央市文化協会だより「いねの花」第二十号をここに発刊することができました。中央市長望月智様をはじめ、原稿を寄せて下さいました。皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、中央市は本年、市制施行二十周年を迎えました。文化協会でも今年の文化祭は、記念事業として甲府市出身の歌手清水まりりさんをお招きし、笑いあり涙ありのステージを披露していただきました。来場された皆さまが心から楽しみ、初めてあった人とも笑顔を共有するなど、心の豊かさや、人と人とのつながりを再認識する機会として、文化芸術の力は計り知れないものがあると強く思いました。

今、世の中は目まぐるしく変わろうとしており、「文化」の持つ役割はますます重要性を増しています。本協会は、単に芸術活動の発表の場を提供するだけでなく、世代を超えた交流の創出や、文化の力で地域の活力を高めていくことに、力を注いでまいります。会員の高齢化や会員数の減少など悩み事、課題はありますが、まずは自分たちが楽しみ、その楽しみを多くの人に広げることで文化協회를盛り上げていくではありませんか。

結びに、会員皆さまのご健勝と中央市文化協会のますますの発展を祈念し挨拶いたします。

「いねの花」発刊に寄せて

中央市長
望月 智

文化協会だより「いねの花」第二十号の発刊、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

また、文化協会の皆様には、日頃より本市の文化振興に温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、社会の変化や生活様式の多様化により、人と人との交流が希薄になりつつあると言われております。顔を合わせて語り合う機会や、学び合う場が少しずつ失われている今こそ、人の心を豊かにする文化の果たす役割は、重要なものであると感じております。

昨年十月に開催されました中央市文化祭では、会員の皆様のみならず、多くの市民の皆様が会場を訪れ、表現する喜びや鑑賞する楽しさを感じられる場となりました。そこには、共感や感動、学びがあり、地域の繋がりを取り戻すきっかけがあったように思います。

文化活動は、その活動を通じて交流が生まれ、新たな繋がりを築くことにより、地域の活性化に寄与するものでもあります。本市といたしましても、文化振興の推進に努めてまいりますので、文化協会の皆様におかれましては、引き続き地域の中心となり、市の将来像である「実り豊かな生活文化都市」の実現に向け、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、中央市文化協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます、あいさついたします。

子供囲碁教室

囲碁部 高橋 孝之

れんげ児童館で子供囲碁教室が始まって、4年目になりました。子供達も多数、入れ替わりりましたが、1、2年生を中心に、常時十名程が毎週水曜日の午後に囲碁を楽しんでいます。囲碁の基本ルールは簡単ですが、勝のは大変難しいです。負けてばかりだといやになる子供もいると思いますが、ずっと続けて欲しいです。私も負けると悔しいです。しかしどこが悪くて負けたのか反省し、少しずつ強くなりました。囲碁のゲームだけに限らないと思います。負けた原因を反省し、次に生かす努力をすれば、必ず強くなります。子供達には、相手をしてくれる仲間がいる事に感謝して、囲碁を楽しんで欲しいです。

囲碁を始めてみたいと思う小学生は、電話「274-8573」れんげ児童館まで連絡して下さい。



真剣勝負です！



どこに打とうかな？親も心配です。

将棋のもつもの

将棋部 松村 達雄

杉の子児童館での将棋教室では、挨拶をととても大事な事としています。対局開始の「お願いします」から終了後の「ありがとうございました」を誰もがはつきりと発し、今回も指導に来て良かったなと思わせてくれます。そんな子供達に、今、練習している6枚落ちのハンデ戦で勝ち方を覚えて、次のステップへ進んでもらいたいです。



文化祭囲碁将棋大会

楽しみながら地域を学ぶ

郷土研究部 内藤 和久

五月の総会のあとに講演会を実施し、内藤が「武田信虎の万部経会
―甲斐統一と甲府開府との関係―」の講演をしました。

六月に歴史文化ボランティアの会と共同で石造物調査を継続しました。
西花輪・大田和・藤巻・今福を調査しました。旧街道沿いの十王像や、
神仏混合の神社の石造物や、市川とつながりのある石仏などがみられま
した。



石造物の調査

臨地研修はリニア関連の市内の発掘調査現場を見学する予定でした

が、調査の進行と現場の受け入れ態勢との兼ね合いで、
多人数での見学は実施できませんでしたが、来年は実施できたらいいと思います。

二月の杉浦醫院での学習会「伝えていこう地方病のこと」では一之瀬氏・田島氏・
内藤の発表と出井館長の解説をいただきました。

楽しみながら学んでいませので、市民の方々も気軽に
参加していただきたいです。

歌好きで元気な体に

すみれコーラス 三井 今朝江

私達はすみれコーラスも前身の玉穂コーラスからだとなります。当然メンバーの

入れ替わりはありますが、当初からの方も居て有難く思います。歌う事で心も体も元気になります。

昨年、一昨年とコンサーとも出来、益々充実したグループになっています。

上手くなる事は勿論ですが、コミュニケーション等歌を通じて人生も楽しく明るく過ごす事が出来ます。お母さんが歌好きだとき々と家庭も明るいでしょう。むずかしい事は何もありません。皆で歌うのですからどなたでも大丈夫です。是非入部をお待ちして居ります。



すみれコーラスときときとハーモニーのジョイントコンサート

嬉しい大庭賞受賞と関東大会出場

そうびコーラス 鈴木 のり子

私達「そうびコーラス」は部員の高齢化や少人数化という課題を抱えつつも、音楽家である先生と素晴らしい技術を持つピアニストの先生による熱心なご指導に恵まれて、半世紀に渡り活動を続けてまいりました。

中央市文化祭やコーラス大会を目標に励んでおりますが、昨年は大きな飛躍の年となりました。念願の「全日本おかあさんコーラス関東大会」への出場が叶い、さらに山梨県合唱連盟より栄えある「大庭賞」の受賞をしました。これもひとえに、長年支えてくださった先生方、そして応援して下さる皆様のお力添えの賜物と深く感謝しております。

今後も時代の変化は避けられませんが、感謝の心を忘れず、共に楽しく歌うことを第一に考えて交流の輪を広げ、次世代に繋げていけたら幸いです。コーラスに興味のある方は気軽に声を掛け下さい。お待ちしております。



第48回全日本おかあさんコーラス関東支部大会

中央市シニアコーラス部での出会い

コーラス部 一ノ瀬 和恵

中央市シニアコーラス部では、月に三回、水曜日午前中、玉穂総合会館で男性四名を含む二十一名の混声合唱で活動しています。発足して、二十二年の年齢を重ね、指揮、歌唱指導に岡田能甫琉先生、ピアノ伴奏に川上可奈子先生をお迎えして、心づいて歌の仲間達の声が教室に響き渡っています。原語の入った曲にも挑戦したり、幅広い曲目を練習しています。

年二回の発表会では、中央市文化祭、山梨県シニアコーラス大会に参加して、日頃の練習の成果を披露しています。発表後の達成感は喜びになります。

歌を離れての活動は、県内外の研修旅行、食事会の交流が行われます。和やかな楽しい輪を感じ、大いに見聞を広めています。

このグループに入部して、楽しく歌ってみませんか？気楽に訪ねて来て下さい。



映画に出演記念です

私と詩吟

詩吟健友会 小池 満男

私が詩吟を始めたのは、昭和四十七年頃。同級生の田中健夫さんに勧められたのがきっかけで、約五十五年になります。

甲府市にある、大獅子吼流の小松大師先生の教室に通い稽古に励みました。全県下から大勢の方がお稽古にきていました。元来大声で歌うことが好きだったので楽しく稽古をすることができ、始めて八年程で師範になりました。

当時は愛好家が多く、各種大会の前には土曜日の早朝から出稽古に出かけていました。

田富町の文化協会が発足し、いくつもの流派が集まり発表会を盛会に実施してきましたが、中央市になった頃より徐々に詩吟愛好家が減り始め、今は僅かな会員数になってしまい本当に寂しさを感じます。



詩吟は何歳になっても世代を超えて長く楽しめます。

流星一刃に舞う

剣詩舞獅剣会 小松 武夫

今回は剣詩舞獅剣会が筆をとりました。西暦630年、日本は遣唐使を通じて「唐」の進んだ制度や文化を取り入れました。その中で杜牧の「江南の春」や李白の「早に白帝城を発す」、また日本に帰る事が出来なかつた阿倍仲麻呂は、郷愁の念に駆られ、和歌「天の原」を作詩、感傷的で今も人気絶えません。

私たち獅剣会は、そうした漢詩や日本の和歌を吟詠し、その作品の心を居合・刀剣・舞扇を用いて表現する剣舞・詩舞、を芸術的に舞い、また大事なことは、「起居振舞」、舞台上の上手、下手の出入り、衣装、扇模様、姿勢、など違和感のない演技表現を目指してお稽古しております。

「吟詠、居合、剣舞、詩舞」等興味がありましたらどうぞお声がけください。お待ちしております。



阿兄のころざし 「出郷の作」

生活に音楽を

大正琴部 栗山 鈴子

現在大正琴部は、「きさらぎ会」「あざみ会」の2グループで活動しています。実は、両グループは姉妹グループなのです。

文化祭では、別々に演奏をしていますが、大きな演奏会やボランティアなどでは、一緒に活動することが再々あります。一番の思い出は、国民文化祭に出場できた事です。全国の大正琴愛好家の皆さんによる、素晴らしい演奏の数々を聞き、刺激を受け部員全員の士気が上がった事はつきりと記憶しています。

長きに渡って、大正琴部を支えてくれている部員の皆さんには、感謝の言葉しかありません。これからも、大正琴を楽しむだけでなく、共に生きる喜びを感じ合える仲間として、一緒に歩んでいける事を願っています。

大正琴は、年齢を問わず楽しむ事ができる簡単な楽器です。皆様も、ぜひ一度、体験してみてください。心よりお待ちしております。

大正琴は、年齢を問わず楽しむ事ができる簡単な楽器です。皆様も、ぜひ一度、体験してみてください。心よりお待ちしております。



合所で練習の様子

華やかな衣装で心も身体も美しく

ダンス部アマナ中央 雨宮 久美子

アマナ中央は、毎月第1、3火曜日に玉穂総合会館でフラダンスを練習しています。

今年度は峡中地域（昭和町・南アルプス市・甲斐市）との交流の一環で、10月に、昭和町文化祭に参加し仲間とのつながりを深め、信頼関係を築くことができ、私自身を成長させてくれました。

三月には、「輪になろう中央市民のつどい」で、清々しい空の下で気持ちよく踊ることができました。また11月は文化協会県外研修に少人数でありますが、全員が参加し親睦を図り楽しく交流することができました。

フラダンスは、心を癒し楽しく健康的に身体を鍛えることのできるダンスです。激しい動きではないので身体を痛める可能性も低く年齢や運動神経に関係なく気軽に始める事ができるのも魅力です。

フラダンスシスターとしてフラに足を運んでみませんか？
皆さまの入部を心からお待ちしています。



笑顔と華やかな衣装で心身ともにリフレッシュ！

社交ダンスで心と身体の健康管理

ダンス部リターン 有泉 幸雄

中央市社交ダンス部は、二つの支部がそれぞれ独自に活動し、年一回の文化祭には、お互い協力しあつて、合同のダンスパーティーを盛大に行つています。ダンスに親しむ愛好者が集まり、日頃の成果を発揮し、お互いの技術を発表したり、またダンスを通じて出会いふれあいを深め、踊る楽しさを味わいながら交流の輪を広げました。

社交ダンスは優雅なムード音楽や軽快なラテンのリズムに乗って、ステップを踏む事により、運動不足が解消され、身体と脳の活性化が図られて認知症の予防にもなります。また年齢に関係なく誰とでも踊れる楽しさから、さまざまな刺激を受けて、いつまでも若々しさが維持されると言われています。

高齢化社会が進むなかで、普段の健康管理が必要だと考えられます。一緒に社交ダンスを始めませんか。



文化祭ダンスパーティー（仮写真）

作って使う楽しみ

玉穂陶芸クラブ 菅原 由美子

玉穂陶芸クラブでは、月二回、陶芸を通じて楽しいひとときを過ごしています。

私達のクラブには指導して下さいる先生がいませんので、お互いに教え合ったり、他の人の作品をお手本にして自由に作品作りをしています。そうして作られる作品は、日常で使う食器や、庭を彩る草花を植える植木鉢として、作った後も長く楽しませてくれます。



一年の成果を文化祭で披露

仲間感謝

舞踊部やよい会 藤巻 みつ子

平成二十二年、仕事を退職し、今後何をしようかと思っていた時、やよい会の指導者であった藤巻玲子先生より「舞踊をしない？稽古に来てね」と誘われ門をたたき仲間に入りました。私は舞踊が初めてでしたので、六人いる先輩について行くのは大変でした。扇の開き方、身体の向き、目線などを月日を掛けて、やっと二曲踊れるようになりました。

中央市舞踊発表会に出演でき、舞台上立った時はただ嬉しく満足感でいっぱいでした。その後ビデオを見てがっかり。できているはずの動作が先輩と全然違う、「あーあ」。それから先生、先輩のおかげさまで、少しずつ上達し楽しくなり友達もでき、感謝しかありません。

今は四名の仲間と月四回の稽古で男踊り女踊りと年二曲を布施第四自治会の公民館で稽古しています。慰問をすることもあり、喜んでいただいております。仲間を大切に稽古後のお喋りに花を咲かせ、仲良く続けていきたいと思えます。



礼に始まり礼に終わる仲間

花月に舞う

舞踊部楽鳳会 小松 和子

和歌・漢詩を吟詠にのせて、和服・袴・扇で舞う「詩舞」といいます。それぞれの詩の内容、作者の気持ちなどを振り付け、研究し、一曲を仕上げ、上げて舞台へ上がるようにしています。鑑賞する方々に表現内容が理解していただけるよう、日々研鑽しております。近年では、子供から年配者まで誰でも出来るよう、工夫を凝らしております。伝統芸能に興味をお持ちの方は、どなたでも歓迎します。



しなやかで優美な身のこなしが特徴です。



練習風景

初花会に入会して

舞踊部初花会 山村 洋子

私は数年前、初花会に入会しました。月に二回水曜日の午後豊富庁舎の二階にて練習をしています。会には男性も一人所属しており、全員で舞踊発表会等に出場しています。個人での踊りもありますので、その他に自主練習も何回となく行います。全員の合せがうまくいった時にはとても感動しています。

先生の指導が厳しい時もありますが、綺麗で格好良い踊りになっていくのが、とてもうれしいです。着物、帯の選択も発表会への楽しみの一つです。練習の積み重ねの大切さを痛感します。

会員との楽しい交流もあり少しでも先輩の皆さんに近づけるように日々の練習を励んでいきたいと思っています。



練習を重ねるごとに踊りに磨きがかかります。

舞踊部として

舞踊部藤扇会 塚田 節子

私達藤扇会は、毎月2回、日曜日に玉穂総合会館和室にて練習をしています。

踊りには男踊りと女踊りがあります。それぞれの所作に違いがあり、とまどうところもありませんが、日々仲間の皆さんと楽しく練習をしています。

地域の集いに参加したり舞台での発表もあります。これからも、皆様に楽しんで頂けます様精進していききたいと思えます。



創立50周年記念 民舞舞踊発表大会

中央市と胎内市の架け橋へ

舞踊部板額会 鷹野 英子

厳しい寒さの中で、猫梅の香りに乗り、春もすぐそこまで近づいてまいりました。

私達、板額会の成り立ちである板額姫についてご紹介させていただきます。板額姫は、新潟県胎内市出身の悲恋の伝説の女性であります。美しく、気高い姫として知られましたが、戦いに翻弄された彼女は、中央市の武将である浅利与一と結婚し、甲斐国にやってきました。晩年の様子は、山梨県にも伝承として残り、地域の歴史や文化の中で、人の縁と運命の儚ささを今に伝える存在となっております。

板額会八名は、毎年十月に胎内市板額の宴、十一月には中央市ふるさとまつりで、「板額姫慕情」、「あゝ浅利与一」の舞踊を披露させて頂き、少しでも両市の架け橋となればと思っております。



新潟県胎内市板額の宴に出演

そのための稽古を月に二回しており、舞台に向けて皆励んでおります。

「舞」で心豊かに

舞踊部 小松 和子

昨年11月16日に玉穂総合会館において、第19回舞踊部発表会を開催し、112名の舞踊愛好者が集い、日頃の練習成果を遺憾なく披露でき、楽しい一時を過ごしました。

第78回県体育祭には舞踊部会員が参加し、豊富音頭を何年かぶりに発表する事ができ、懐かしい昔を思い出して楽しんで踊りました。

今年は玉穂音頭に挑戦していきたいと思っております。中央市ふるさと音頭、豊富音頭、玉穂音頭の三地区の郷土舞踊を市民全体に広めていきたいと思っています。

令和8年度11月には、舞踊部の発表会が20周年を迎えることとなります。この活動の節目に当たり、集大成として、内容豊かな舞踊発表会を企画しております。この伝統文化を絶やさないよう会員一同益々お稽古に励み、新たに頑張る所存で参ります。皆様尚一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



舞踊発表会オープニング風景

二十年のあゆみ

舞踊部 藤巻 幸枝

平成から令和に移り変わり「いねの花」も20号の発行となりました。記念すべき節目を迎え、20年を振り返りますと、行政を始め歴代の役員の皆様方には大変なご尽力を頂き、私たちの文化活動を支えていただきました。心より感謝申し上げます。

市制施行10周年には私達舞踊部も、市民参加の輪作りを目的とした、「中央市ふるさと音頭」の普及活動を進めて参りました。元号が令和に変わりますと、コロナ禍で多くの活動が中止となってしまうました。ここ数年、やっと発表会も出来る

ようになりましたが、昨今では、会員の高齢化に伴う減少が進み、文化協会存続のためにも新たな取り組みを考えていかなければならない状況になってきました。ただ、存続の危機は新しい形を作るチャンスとも考えられます。部を超えた協力体制を作り、参加しやすい環境を整えることで、これからの文化協会活動が、尚層充実しますよう期待したいと思います。



なつかしく思い出の一枚

令和七年度の朗読部

朗読部つくばねの会 笠原 里紗

令和七年度の朗読部は、新たに2名の会員を迎え、例年以上に活気ある充実した活動を展開することができました。

今年度の大きな節目となったのは、数年間にわたり制限されていたボランティア活動の再開です。聴き手の方々の反応を間近に感じながら行う朗読は、私たちにとても多くの気づきと学びをもたらす貴重な時間となりました。

また、月2回の学習会では講師による丁寧な指導を仰ぎ、文学作品を「音声」として出力する面白さを会員一同で共有しています。黙読では見落としてしまう作品の奥深さを、身体を通じて再発見できるのは朗読ならではの醍醐味です。

現在も新規会員を募集中です。毎月第2・第4土曜日の13時半から、中央市役所豊富庁舎のコミュニケーションスペースで活動しています。初心者の方でも安心して取り組める和気あいあいとした雰囲気ですので、来年度も「無理なく楽しく」をモットーに、表現の真髄を追求する活動を続けてまいります。



活動風景

文化協会文芸部について

文芸部田富短歌会 渡辺 良臣

文芸部は現在、短歌の集まりが、「田富短歌会」の名前で活動中です。「田富短歌会」の名称は、旧田富町に由来するもので、中央市の方ならどなたでも参加していただきたいと思えます。現在の会員は八名です。毎月二回の部会を行っております。

令和7年度の会員の作品を読んで下さい。

- 珠洲焼の復興目指し焚く窯の炎が照らす君の横顔 金丸和子
- 溪流の岩すりぬけて流れゆく目印を追う山女見つけぬ 小高弘美
- 十二月になりて咲きだす遅い菊ビロードの様な深い色にて 小松英美枝
- 花柄の嫁の手作り夏帽子揃いてかぶる夫つまの七回忌 佐々木いづみ
- 盆中に吸物椀入れ見つかりぬ嘉永四年と墨の色濃し 佐野直美
- 焼却の太き白煙真つ直ぐに青き空へと伸びてゆきたり 土屋 由子
- 前庭の松や柘植の木植木屋はきれいに剪定仕上くれたり 土橋 秀子
- 日々の暑きキュウリもナスも花付けて収穫前のひとときであり 深沢千鶴
- カーテンをあけたら外は銀世界まさかの雪に夫はおどろく 藤田 洋子
- 棕櫚の葉は風に煽られ傷められ音と光を放ちて耐へる 渡辺 良臣

ハーモニカの音色に癒されて

きときとハーモニー 三井 今朝江

カルチャースクールから生まれた私達きときとハーモニークラブも15年位経ちました。

今の主な活動は慰問です。昭和歌謡中心にデイサービス、介護施設、自治会の集まり等どこでも行っています。とても喜ばれ、定期的に依頼される事もしばしばあります。ただ、なかなかハーモニーとなるとメンバーが増えないことが悩みです。でも本年度からソロ活動にも力を入れていきます。歌のジャンルは問いません。指導して下さいませ。先生はとても熱心に二人ひとりに時間を作ってくれます。有難い事です。先日はシティホールで献奏する機会がありました。ハーモニカの音色は優しく穏やかですので会場の雰囲気にも合つて、スタッフの方からもお誉めの言葉を頂きました。

入部したい方はいつでも見学において下さい。お待ちしております。



すみれコーラスときときとハーモニーのジョイントコンサート

音楽は無限

音楽部二胡の会 今沢 敏江

二胡の会は、毎月二回火曜日に、玉穂総合会館で、前田登先生に習っています。伴奏の音源も楽譜もチューニングも全て先生にさせていただいています。

中央市の教室が始まって十六年、文化協会への加入は六年になります。

中央市文化祭、玉穂生涯学習館での演奏会、甲州教室と合同の発表会、山梨二胡の会演奏会等、発表の機会を頂いております。

二胡は、手軽で親しみやすい楽器です。自身の技術の向上も大切ですが、何より演奏することを楽しみたい。合奏することにより魅力が増します。

現在メンバーは十四名です。レパートリーは二百五十曲以上ありますが弾きたい曲は数え切れません。音楽は無限です。



二胡の独特な響きは深く印象に残ります。

いや〜あ、ジャズって本当にいいものですね〜

音楽部「ジャズを楽しもう会」 原 辰弥

私は昨年、仲間と「ジャズを楽しもう会」を立ち上げました。主な活動は月に二度の「ジャズレコードコンサート」。

ですが、実はその数年前からこのコンサートは開いていて、この3月で第50回になりました。今回中央市の文化協会に参加し、より多くの人にジャズの魅力を知っていただければと願っています。

私がジャズを初めて聴いたのは高校の頃、友達に誘われて観たジャズのコンサート。本場のジャズの音は、まさに衝撃で虜になってしまいました。以来、都内のジャズ喫茶のマスターを経験したりと、ジャズとの出会いは私に大きな影響を与えてくれました。

これまでの経験を活かしてジャズ喫茶の雰囲気の中で、ぜひ聴いていただきたい名曲名演を選んで大型のオーディオシステムで聴いていただいています。年に何回かは、参加の方の推しのCD、LPを持参していただくこともあります。

初心者、ベテランを問わずジャズの素晴らしさを知りたい人はぜひご参加を。



「ジャズを楽しもう会」メンバー

自分と向き合う静かな時

書道部

雨宮 幸子

静かな時間をもたらしてくれる書道。どんな筆が良いのか、墨はどれ程の濃さが良いのか、わからないだらけの私でした。皆さんに教えてもらいながら、はじめて小筆を握り、墨をつけ、毛先が紙にのつた瞬間に手が震えていたことを今でも覚えています。

「繰り返し練習することで少しずつ上達していくよ。」とアドバイスを受け、だんだんと心地良い「静かな時」が感じられるようになってきました。

さて、「漢字」について紐解いてみたところ、発祥は中国で、篆書→隸書→草書→行書→楷書へと変化してきました。そしてそれぞれの書体は、文字の実用性と芸術的美しさのバランスを求めながら、現在に至るまで進化し続けてきたことに、とても興味をかきたてられます。書道が幅広く老若男女に愛される所以なのでしょう。



仲間の作品を見て学ぶことも重要です。

玉穂支部において、毎月第二水曜日午後七時から九時まで、小筆で鈴木先生のお手本を見ながら練習しています。中央市文化祭には、成果発表の場として作品を展示しています。興味をお持ちの方は、是非お問合せください。

令和7年度中央市文化協会総会

令和7年5月13日(火)に中央市文化協会総会を玉穂生涯学習館で開催しました。総会後は、アトラクションとして、活動団体の発表を鑑賞しました。



開会の挨拶（小松武夫副会長）



会長挨拶（鮎川英哲会長）



ダンス部ブアマナ中央



舞踊部粘土節ロック愛好会

令和7年度中央市文化協会会員研修

令和7年11月11日(火)に会員を対象とした研修を行い、松本城、小諸懐古園、びんころ地蔵を巡りました。57名の参加があり、会員間の親睦を深め、協会の活性化につながる有意義な研修となりました。



1班



2班



【郷土研究部】
昭和町杉浦醫院での研修会。



【朗読部つくばねの会】
定期朗読会



【舞踊部】
年間を通して色々な場所で舞踏を披露しています。
(峡中地区合同発表会)



【ダンス部プアマナ中央】
峡中地区合同発表会で中央市を代表してフラダンスを披露しました。



【会員研修】
ぴんころ地蔵で健康長寿祈願。いつまでも文化協会活動ができますように。



【会員研修】
国宝松本城は天守閣までのぼりました。



【舞踊部】
部長の小松和子さんが、地域の文化芸術の振興に寄与したとして「山梨芸術文化賞 奨励賞」を受賞しました。



【音楽部ジャズを楽しむ会】
本格的なジャズコンサートで生の音を肌で感じることもあります。



【そうびコーラス】
第48回お母さんコーラス山梨県大会で関東大会出場を決めました。

第17回中央市文化祭



▲文化祭開会式



▲協会表彰受賞者



▲協会表彰



▲笑いあり涙ありの清水まり子さん歌謡ショーでした。



▲華道部古流清光会の皆様には急遽会場入り口に華を添えていただきました。



▲一般展示には例年になく多くの作人が出品されました。ぜひ文化協会へ加入を。





▲大正琴の演奏に合わせて自然と歌声が湧き上がります。



▲漢詩を理解して詩吟を聞くと一味違った世界が広がります。



▲手拍子や踊りを交えながらのコーラスに会場も盛り上がります。



▲優美な動きは日頃の練習の成果です。



▲癒しの音色が素敵です。



▲着物を着こなす所作も魅力の一つです。



▲舞踊に社交ダンスにフラダンス、文化祭では色々な踊りをみる
ことができます。



▲歌声を合わせて一つになるコーラスは会場も一つにします。



▲将棋大会 1～3位



▲熱気漂う囲碁将棋大会会場

▼囲碁大会子ども部門 1～3位



▲囲碁大会大人部門 1～3位



▲迫力のバンド演奏



▲動きが綺麗に揃った時の感動は格別です。



▲ほぼ満席の会場。文化祭は、たくさんの人に日頃の成果を見てもらう絶好の機会です。



▶詩吟は腹式呼吸で腹の底から声を出します。



▲舞踊のソロ（独舞）は、舞台に一人きり。高い技術と表現力が求められます。

◀剣詩舞は、武道の迫力と舞踊の美しさを同時に表現します。



▲拍手を頂いた高揚感は忘れられません。

▶楽しみは踊り、大好きで一度も休むことなく続けてきた成果を披露しました。



▲会場も二胡の調べにうっとり

▶ハーモニカの独特な温かい音色が人の心を落ち着かせます。



▲最後は中央市ふるさと音頭で会場が一つになりました。

▶小島加奈さんの「中央市ふるさと音頭」でフィナーレ！



部名	活動団体名	日程	場所	役職	地区	氏名
ダンス部	リターン (有泉)	毎週金曜日：19時～21時30分	玉穂総合会館	部長 副部長	全 全	石原紀久美 有泉 幸雄
	中央ステップワン (岩浪)	毎週土曜日：13時～16時	峡中勤労青年センター			
	プアマナ中央[フラダンス]	毎月第1,3火曜日：17時30分～19時30分	玉穂総合会館			
陶芸部	玉穂陶芸クラブ	詳細はお問い合わせください。	玉穂総合会館	部長	玉穂	菅原由美子
舞踊部	初花会	隔週水曜日：13時30分～17時	豊富中央公民館	部長	全	小松 和子
	やよい会	毎週土曜日	布施第4公民館	副部長	玉穂	山村 洋子
	藤扇会	隔週日曜日	玉穂総合会館			
	楽鳳会	隔週土曜日	玉穂総合会館			
	すみれ会	隔週水曜日	桜公民館			
	田富舞踊会	隔週水曜日	リバーサイド第3公民館			
	花水木会	隔週火曜日	個人宅			
	風花会	毎週月曜日	個人宅			
	初花会男闘呼組	隔週水曜日：13時30分～17時	豊富中央公民館			
	板額会	隔週火曜日：13時30分～17時	豊富中央公民館			
	粘土節ロック愛好会	隔週土曜日：13時30分～17時	豊富中央公民館			
朗読部	つくばねの会	毎月第2,4土曜日：13時30分～15時30分	豊富支所コミュニティスペース	部長	豊富	笠原 里紗
文芸部	田富短歌会	毎月1回	お問合せ下さい。	部長	全	佐野 直美
				副部長	全	小高 弘美 金丸 和子
音楽部	ランサーズ	発表時に合わせて	豊富中央公民館	部長	玉穂	相原 博
	オカリナ・コンセール	月2回 (不定期)	豊富中央公民館	副部長	豊富	江間 政雄
	きとぎとハーモニッククラブ	毎月第2,4金曜日：9時～11時	玉穂総合会館			
	二胡の会	毎月第2,4火曜日：14時～16時	玉穂総合会館			
	ジャズを楽しもう会	毎月第3土曜日：19時～21時	コミュニティスペース フィオーレ			

(令和8年3月31日現在)

【休部一覧】

花卉園芸部、野草部、茶道部、尺八部、写真部、手芸部、箏曲部、歌謡部、健康娯楽部、手品部、民謡部、絵画部

会員・加入団体募集中

中央市文化協会では、皆様のご加入をお待ちしています。初心者の方も大歓迎です。
まずは見学、体験をしてみませんか？

【お問い合わせ】 中央市文化協会事務局 (中央市教育委員会 生涯教育課内) ☎ 055-274-8522

令和7年度中央市文化協会役員名簿

名誉会長 望月 智 (中央市長)
会長 鮎川 英哲 (舞踊部)
副会長 小松 武夫 (吟剣詩部)
常任理事 藤巻 幸枝 (舞踊部) 三井今朝江 (コーラス部) 中込 昭子 (音楽部)
 深澤 正樹 (囲碁部) 有泉 幸雄 (ダンス部)
監事 鈴木 章安 (書道部) 松村 達雄 (将棋部)

中央市文化協会各活動団体別定期活動日程表

部名	活動団体名	日 程	場 所	役職	地区	氏 名
囲碁部		毎月第1日曜日：10時～17時(定例会)	玉穂総合会館	部長	全	高橋 孝之
		毎週土曜日：12時～17時(研修会)		副部長	田富	深澤 剛
		毎週月曜日：10時～16時(研修会)	コミュニティーセンター(温泉)		田富	深澤 正樹
		毎週水曜日：15時30分～17時(子ども囲碁教室)	れんげ児童館		玉穂	阿部 静
				豊富	斉藤 謙	
将棋部		毎月第3土曜日：13時～15時	玉穂生涯学習館	部長	全	松村 達雄
華道部	古流清光会	毎月3回水曜日：13時～	松田宅	部長	田富	松田 清美
郷土研究部		講演会・学習会・石造物調査を実施。 関連行事にも参加。	主に市内	部長	全	内藤 和久
				副部長	田富	(部長兼務)
					玉穂	田島 聰
					豊富	水上 丈徳
コーラス部	そうびコーラス	毎週金曜日：19時30分～21時30分	玉穂総合会館	部長	全	鈴木のり子
	すみれコーラス	毎月第2,4金曜日：13時～15時	玉穂総合会館	副部長	全	三井今朝江
	中央市シニアコーラス	毎月第1,2,4水曜日：10時～11時30分	玉穂総合会館		田富	高橋 圭子
吟剣詩舞部	剣詩舞獅剣会	隔週木・土曜日	玉穂総合会館	部長	全	小松 武夫
	詩吟健友会	毎月第2,4土曜日：14時～16時	お問合せ下さい。	副部長	全	田中 健夫
書道部	玉穂	毎月第2水曜日：19時～21時	玉穂総合会館	部長	玉穂	松木千恵美
				副部長	玉穂	八巻 長子
					玉穂	長田 和子
大正琴部	きさらぎ会	毎月第1,2,4木曜日：14時～16時	J A山梨みらい玉穂支店	部長	玉穂	栗山 鈴子
	あざみ会	毎月第1,3火曜日：13時30分～16時	玉穂総合会館	副部長	玉穂	近藤たま乃
					玉穂	藤巻 金子

令和7年度文化協会表彰

中央市文化協会表彰は、中央市文化協会に特に功労があり、又は、協力された者並びに活動内容が優秀な団体(部)を表彰することにより、その功績を称え、中央市文化の向上、発展に資することを目的とするもので、協会より賞状が授与されます。

令和7年度の表彰状の授与につきましては、第17回中央市文化祭の式典で執り行われました。表彰を受けられた方々には、なお一層のご活躍をいただくとともに、今後も文化協会の発展にお力添えをお願いいたします。

被表彰者(敬称略)



特別功労賞

鈴木 章安 (書道部)

特別功労賞

小松 武夫 (詩吟部)

文化振興賞

近藤たま乃 (大正琴部)

文化振興賞

藤巻みつ子 (舞踊部)



編集後記

今年度も各部の皆様には寄稿のご協力をいただきました。ありがとうございます。お陰様で「いねの花」20号を発刊する事ができました。

令和7年度は、中央市市政施行20周年、文化協会発足20周年の年という事で、10月に行われた中央市文化祭では、20周年を祝う特別な催しが行われ、華やかな舞台を楽しみました。また各部の日頃の練習の成果が芸能発表で披露され、展示ブースでは会員の力作や、一般の方々の素晴らしい作品が多く展示されました。11月に実施された長野方面への研修旅行には、60名近い参加者があり、好天に恵まれ美しい紅葉の中親睦を図る事が出来ました。

このような活動等を通して文化協会各部では、会員の健康や生き甲斐に繋がるよう、楽しみながら日々精進しております。文化協会だより「いねの花」では、それがお伝え出来ればと考えております。

(中込 昭子記)

中央市文化協会だより『いねの花』編集委員

委員長 鮎川 英哲

副委員長 小松 武夫

委員 藤巻 幸枝

三井今朝江

中込 昭子

深澤 正樹

有泉 幸雄